

[課程一2]

審査の結果の要旨

氏名 渡邊 多永子

本研究は、国民生活基礎調査を使用し、同居の主介護者の中で就業しているもの、および現在就業していないが、就業希望があり、介護以外に就業できない理由を挙げなかったものを対象として、就業状況と介護者の介護状況、個人や家族の属性、居住地域との関連を検証したものであり、下記の結果を得ている。

1. 介護者は、被介護者の自立状況が悪い場合、介護者が高齢の場合、家族が少ない場合、大都市居住の場合、女性介護者で学歴が低い場合、健康状態が悪い場合に就業していなかった。
2. 就業している介護者の就業時間と介護状況には関連がほとんどなく、就業時間とその他の変数の間にも介護者に特有と思われる傾向はみられなかった。

高齢社会において深刻化が予想されるテーマであり、検討する意義は高い。幅広い年齢層の、就業中および就業希望があり介護以外に就業できない理由のない男女介護者を対象として、就業状況と介護者の介護状況、個人や家族の属性、居住地域など介護者の詳細な実態と就業状況の関連を評価した本研究は、介護と仕事の両立を支援する際の重要な基礎資料になりうるものであり、学位の授与に値するものと考えられる。